

関門海峡ミュージアム魅力向上のための基本計画素案

<施設の基本方針>

雄大な海峡と港町の賑わいを体感する 日本唯一の海峡ミュージアム

九州と本州を隔てる関門海峡は、古来、我が国と世界を結ぶ交通の要衝として発展してきました。

我が国の歴史の大転換を決定づける数々の事件の舞台になるとともに、かつて日本で最多の船舶が入り出した門司港には、安全な航海を支え、港町の繁栄を育んできた人々の営々たるドラマがあります。

このミュージアムは、日本の歴史、文化、経済的繁栄を育んできた関門海峡について、体験しながら楽しく学ぶ日本唯一の海峡ミュージアムを目指します。

門司港のランドマーク 水先案内を担う拠点ミュージアム

かつて日本一の海運拠点として繁栄した関門地域は、今では、西日本有数の観光地として国内外からたくさんの旅行者が訪れるようになりました。

本州と九州を結ぶ関門橋、激しい潮の流れの中を行き交う船、大正ロマンを今に伝える建造物といった大パノラマを一望できる関門海峡ミュージアムは、これからの観光プランを考え、楽しい非日常に思いをはせる最適なロケーションを有しています。

このミュージアムは、船をモチーフとしたデザインと関門海峡を臨む大眺望を活かし、門司港のランドマークとなり、関門地域の各所に旅行者を誘導する水先案内の役割を担います。

市民の応援で 日々進化するミュージアム

国内外の旅行者が「行ってみたい」「また来たい」と思う施設となるためには、市民に愛され、親しまれ、応援される施設であることが重要です。

運営に多くの市民が参画し、また、活動拠点として日常的に利用いただくことで、ホスピタリティが高まり、新しいプログラムも生まれます。

このミュージアムは、市民とともに進化、成長し、地域活力の源泉となるミュージアムを目指します。

<施設のリニューアルコンセプト>

amusement + museum

ミュージアムから、アミュージアムへ。関門海峡ミュージアムは、『楽しい学び』があふれる施設に生まれ変わります。

ミュージアムから、アミュージアムへ。リニューアルのキーワードです。関門海峡の雄大さへといざなう『楽しい学び体験』が関門海峡への新たな視点を来館者にもたらしめます。何度も楽しめて、楽しむほど興味がわいてくる！ リニューアルではそんな好循環を作り出して、施設と街に賑わいを作ります。

<リニューアルの方向性>

1. デジタルテクノロジーを駆使した演出で海峡の魅力を引きだします

AR(拡張現実)など、先端のデジタルテクノロジーを用いた演出を行うことで、関門海峡の隠された魅力を浮き彫りにします。

2. 忘れがたいストーリーで、リピート訪問を呼び込みます

関門海峡をより一層魅力的にみせるテーマやストーリーを展示に持たせることで、来館者に何度も訪れたいと思ってもらえるような施設づくりを目指します。

3. 地域連携で、地元の人たちの集うミュージアムになります

地域との連携のもと、イベントや物販など様々なプログラムをミュージアムで開催、地元の人たちが何度も集い、楽しめるミュージアムを目指します。

<集客の考え方>

1. ファミリー層の集客力の強化

現在の主な門司港地区の来訪者層は、カップルや団体旅行が多くなっています。門司港地区が観光地としてさらなる発展を遂げるには、より広い層を集客することが必要となります。関門海峡ミュージアムは門司港地区を代表する観光施設の一つとして、「ファミリー層」の集客力を向上し、街に新たな来訪者を呼び込みます。

2. 門司港地区来訪者を中心とした広域観光客集客力の強化

門司港地区には200万人を超える非常に多数の来訪があります。関門海峡ミュージアムでは、この多数の来訪者をより一層呼び込むことで、ミュージアムの入場者増を実現します。門司港地区の観光集客とミュージアムのさらなる発展を目指して、全国各地からの集客はもとよりインバウンドの受け入れ拡大にも取り組みます。

<展示コンセプト>

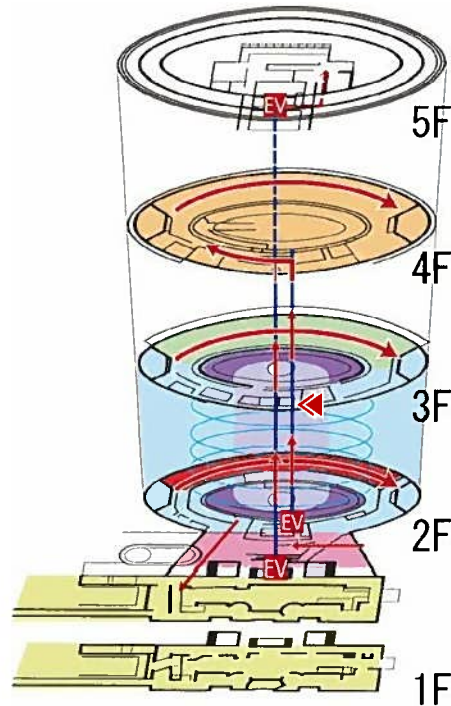
「海峡ドラマシップ」の旅

巨大客船をイメージして建築された関門海峡ミュージアム。関門海峡ミュージアムを時空を超えて航海する「海峡ドラマシップ」に見立て、来館者を現在、過去、未来の関門海峡への旅に誘います。

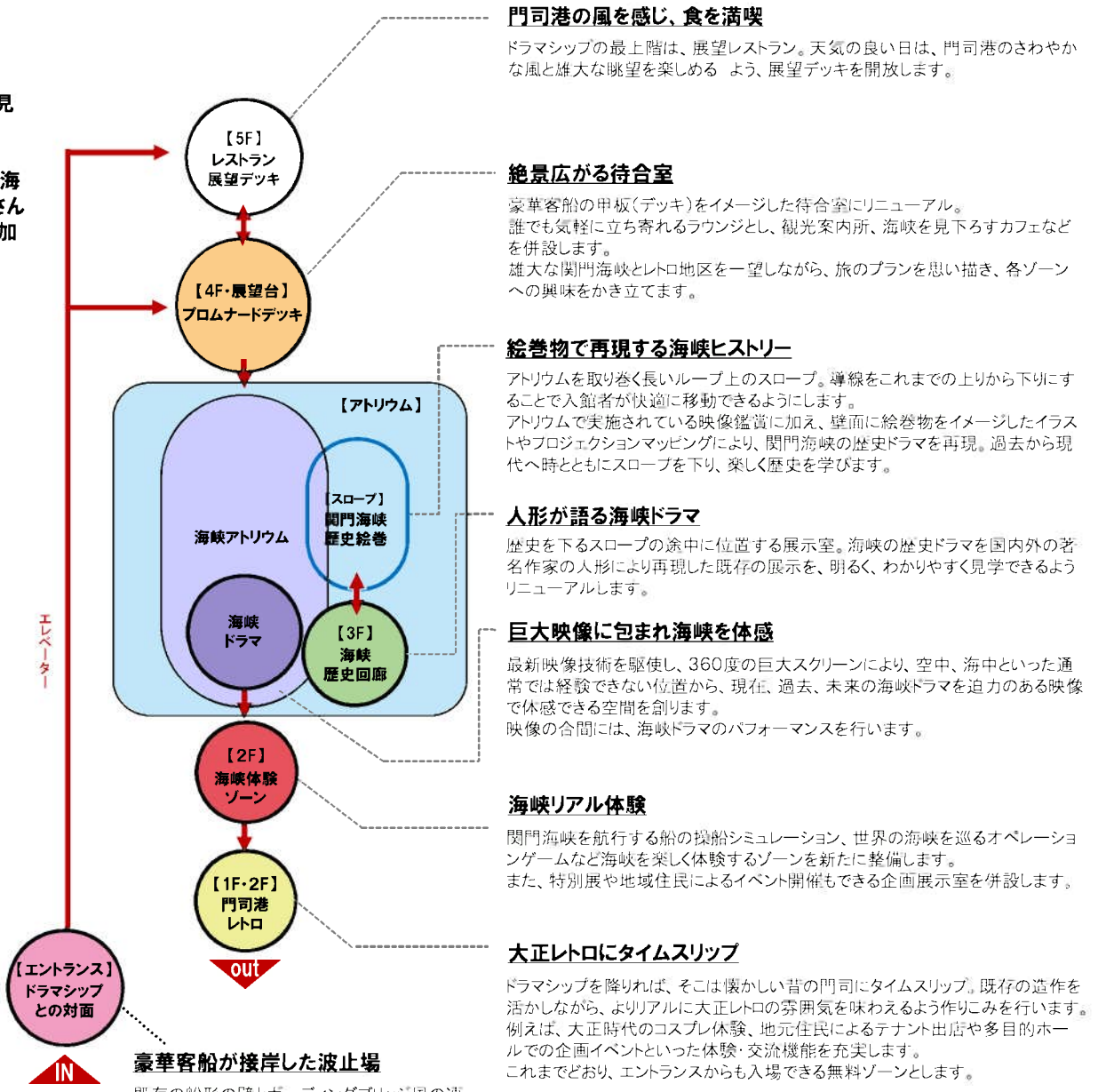
今回のリニューアルでは、最新の映像技術を駆使し、あたかも現実の海峡ドラマの中に身を置いたような空間を演出するとともに、多くの皆さんのパフォーマンスにより温かい交流を楽しむことができる、体験型・参加型の施設を目指します。

展示ストーリーと導線の抜本見直し

入館者がストーリーを感じながら、楽しく快適に館内を巡ることができるよう、下から上に誘導する現行の順路を、上から下に抜本的に見直します。



※画像はすべて現時点のイメージになります



門司港の風を感じ、食を満喫
 ドラマシップの最上階は、展望レストラン。天気の良い日は、門司港のさわやかな風と雄大な眺望を楽しめるよう、展望デッキを開放します。

絶景広がる待合室
 豪華客船の甲板(デッキ)をイメージした待合室にリニューアル。誰でも気軽に立ち寄れるラウンジとし、観光案内所、海峡を見下ろすカフェなどを併設します。雄大な関門海峡とレトロ地区を一望しながら、旅のプランを思い描き、各ゾーンへの興味をかき立てます。

絵巻物で再現する海峡歴史
 アトリウムを取り巻く長いループ上のスロープ。導線をこれまでの上りから下りにすることで入館者が快適に移動できるようにします。アトリウムで実施されている映像鑑賞に加え、壁面に絵巻物をイメージしたイラストやプロジェクションマッピングにより、関門海峡の歴史ドラマを再現。過去から現代へ時とともにスロープを下り、楽しく歴史を学びます。

人形が語る海峡ドラマ
 歴史を下るスロープの途中に位置する展示室。海峡の歴史ドラマを国内外の著名作家の人形により再現した既存の展示を、明るく、わかりやすく見学できるようにリニューアルします。

巨大映像に包まれ海峡を体感
 最新映像技術を駆使し、360度の巨大スクリーンにより、空中、海中といった通常では経験できない位置から、現在、過去、未来の海峡ドラマを迫力のある映像で体感できる空間を創ります。映像の合間には、海峡ドラマのパフォーマンスを行います。

海峡リアル体験
 関門海峡を航行する船の操船シミュレーション、世界の海峡を巡るオペレーションゲームなど海峡を楽しむ体験するゾーンを新たに整備します。また、特別展や地域住民によるイベント開催もできる企画展示室を併設します。

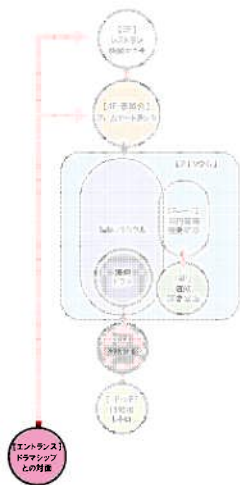
大正レトロにタイムスリップ
 ドラマシップを降りれば、そこは懐かしい昔の門司にタイムスリップ。既存の造作を活かしながら、よりリアルに大正レトロの雰囲気を楽しむよう作りこみを行います。例えば、大正時代のコスプレ体験、地元住民によるテナント出店や多目的ホールでの企画イベントといった体験・交流機能を充実します。これまでどおり、エントランスからも入場できる無料ゾーンとします。

豪華客船が接岸した波止場
 既存の船形の壁とボーディングブリッジ風の連絡通路を活用し、「ドラマシップ」が接岸した波止場にリニューアル。楽しい旅の始まりを予感させ、入館者のワクワク感を掻き立てます。

<エントランス>

エントランスはドラマシップが接岸した波止場
来館者を別世界へとご案内します

既存のエントランスは船型をイメージしたものとなっていますが、分かりにくいいため、グラフィックで船をはっきりイメージさせるとともに、連絡通路をボーディングブリッジ風に演出します。
よりドラマチックに来館者を迎えるエントランスにイメージアップします。これから始まる「ドラマシップの旅」を強く意識させ、期待感を高め、各ゾーンへの入館を誘導します。



グラフィックで船をはっきりイメージさせる

ボーディングブリッジ風に演出

カモメやビットオブジェで波止場の雰囲気を作る

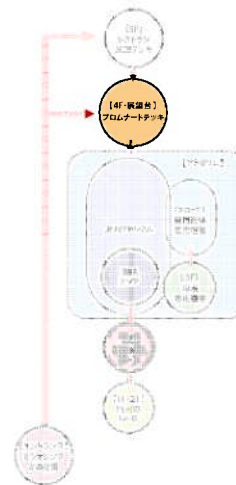
ウツの床材でデッキのイメージを作る

※画像はすべて現時点のイメージになります

<4F>

4Fは豪華客船のラウンジ
リラックスしながら乗船へのキモチを高めます

関門海峡の絶景が広がり、抜群の眺望を誇る4Fスペースをラウンジとし、海峡を見下ろすカフェ、観光案内所を併設します。ゆっくりとくつろいだ雰囲気の中で、旅のプランを思い描き各ゾーンへの興味をかき立てます。



海峡を眺めるカフェを配置

観光案内所



大正から昭和にかけて航行した豪華客船をイメージした内装

<アトリウム>

アトリウムに入れば、そこは潮流空間。うねりくるスクリーンの潮目に、時空を超えた海峡の記憶・伝説が甦る。

我が国と世界を結ぶ交通の要所として、歴史の大転換の舞台となった関門海峡。海峡が育んできた無数のストーリーを掘り起し、潮の流れる中央スクリーンで海峡ドラマを体感できるようにします。

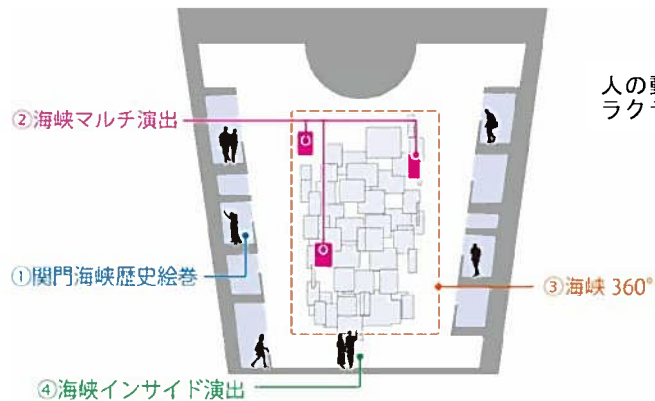
①関門海峡歴史絵巻

現代から過去へ、歴史回廊

関門海峡にまつわる歴史を全面に展開！インタラクティブシステムによる歴史ドラマを体験。長いスロープの移動を感じさせることなく、楽しく海峡の歴史を学びます。



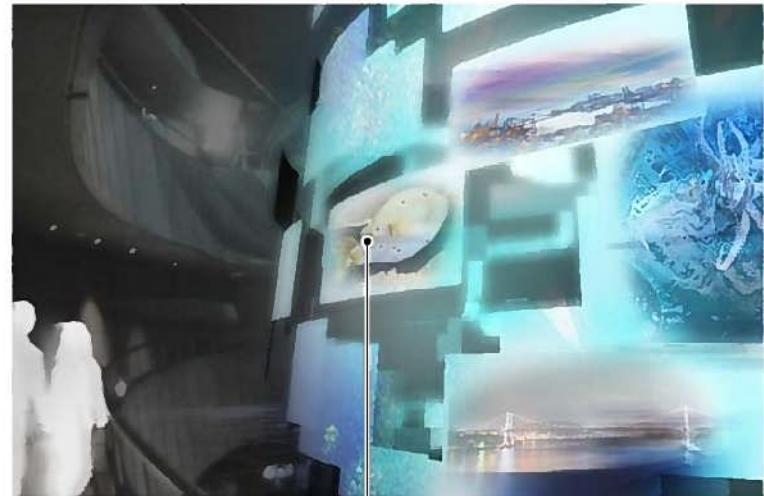
【アトリウム断面模式図】



②海峡マルチ演出(スクリーン単体での演出)

海峡が生んだ数々のストーリーをみせる！

スロープに設置したタブレット端末機に触ると、個別に使えるスクリーンで海峡ドラマを楽しむことができます。



人の動きにあわせて画像が動き回るインタラクティブ歴史絵巻

スクリーンの所々で浮かび上がるストーリー。その詳細はスロープに設置されたタブレットで詳しく知ることができる。

※画像はすべて現時点のイメージになります

<アトリウム>

アトリウムに入れば、そこは潮流空間。うねりくるスクリーンの潮目に、時空を超えた海峡の記憶・伝説が甦る。

我が国と世界を結ぶ交通の要所として、歴史の大転換の舞台となった関門海峡。海峡が育んできた無数のストーリーを掘り起し、潮の流れる中央スクリーンで海峡ドラマを体感できるようにします。

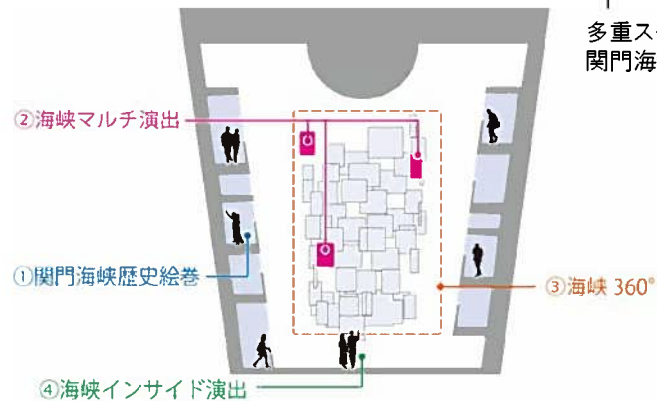
③海峡360°（巨大スクリーンが圧倒）

海峡ドラマをダイナミックにみせる！

数十枚の迫力あるスクリーンを組み合わせ一体の巨大360°スクリーンを作成。海峡ドラマを上下左右どこからでも体感できます。



【アトリウム断面模式図】

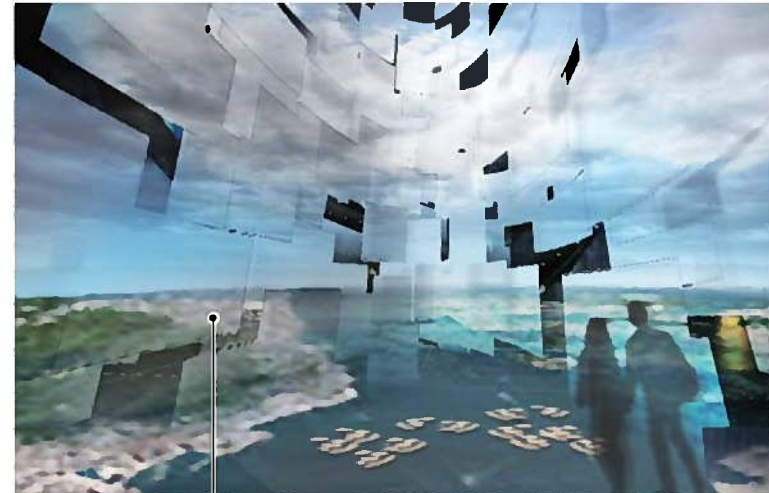


多重スクリーン全体を使って、関門海峡の環境をみせる

④海峡インサイド演出

海峡のドラマ、異次元の空間で体感する！

スクリーンの内部に入ると映像に包まれた異次元の空間。空中、海中といった通常では体験できない位置から海峡ドラマを体感できます。



空中から壇ノ浦の戦いを俯瞰する、浮遊感あふれる演出

※画像はすべて現時点のイメージになります

<3F>

展示環境を大幅リニューアル、海底にきらめく幻想世界を演出！人形アートを海中世界で輝かせます

3階のリニューアルでは、独特な雰囲気を持つ人形アートをひきたたせるため、明るい海中世界にリニューアル。海峡ドラマの雰囲気を高めるとともに人形の表情をいきいきと魅力的に見せます。

海中環境演出

人形を包み込む輝く海中世界を演出！

紗幕を用いた照明演出をおこない、これまでの暗い世界から一変、明るく輝く海中世界を作り出します。



演出用紗幕

透過型の布を天井から懸垂します。海中を想起させる光を当てること、空間全体が海中の雰囲気になります。さらに、光を面で受け止めて、空間を明るく感じさせる効果があります。



床演出照明

床に海中をイメージした揺らぎのある照明を当てます。海中を歩いている雰囲気を作りながら、暗かった足をほんのり明るくします。

<2F>

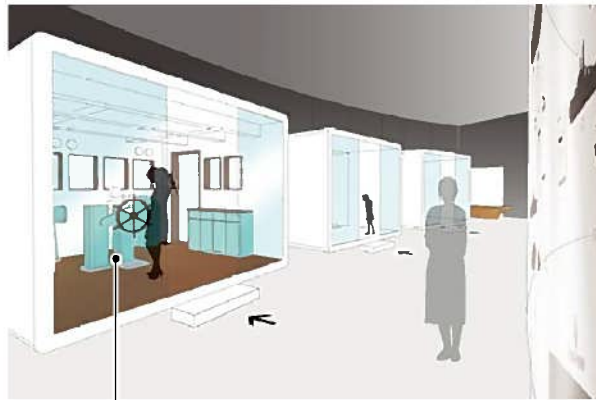
2階を海峡体験ゾーンにリニューアル！操船、海運といった海峡特有の仕事をリアルに体験します

2階の旧レストスペースは体験空間への大胆なリニューアルを行います。海運の世界を再現した体験装置は、海峡で働く人々の熟練の技術や苦労をリアルに伝えます。

①操船シミュレーション

海峡の操船の難しさを体験する

最先端のCG技術を駆使して臨場感の高い仮想操船空間を実現。お気に入りの船を選び、潮流、天候、交通量など様々なシミュレーションの中で操船体験を行います。



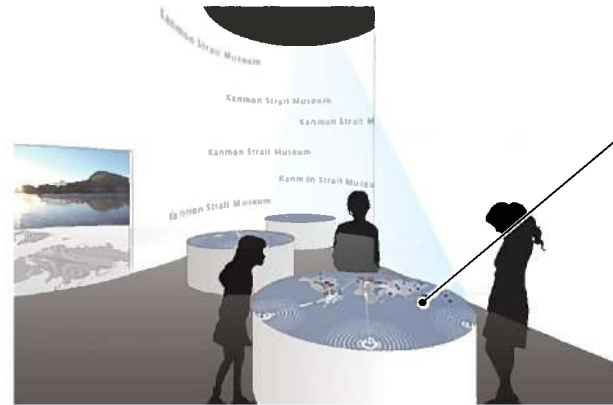
操船室をリアルに再現した個別ブースで操船体験。異なるタイプの船を実際に運転しているような臨場感で関門海峡を航海する難しさを体験します。

浚渫船やLNG船、関門海峡を行き交う船の面白さが詰まった展示ケース

②海運オペレーションデスク

世界の海運が手元に広がる。

海峡を俯瞰するデッキで世界の海運システムを体験。行き交う船や潮流を読みながら海峡を渡るリアルなゲーム設定で海運への理解を深めます。

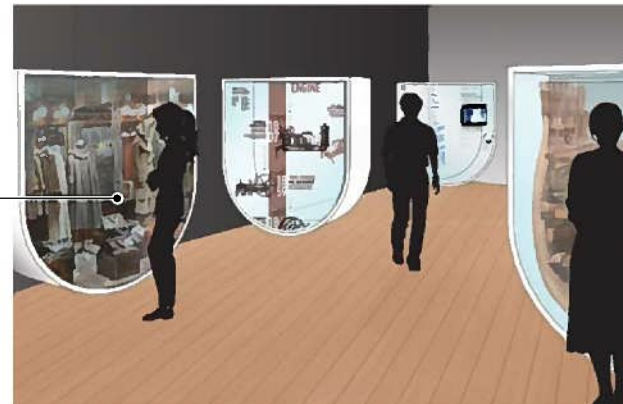


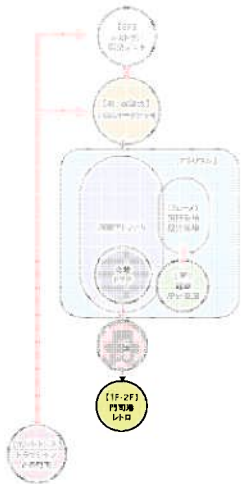
世界の海運がシミュレーションされたテーブルで海峡ミッションにチャレンジ！海峡の重要性がわかるゲームです。

③関門海峡の今

関門海峡を行き交う船の世界

関門海峡を行き交う専門船の構造や役割に加え、船とともに海峡で働く人々の熟練の技術を紹介します。





<海峡レトロ通り>

海峡レトロ通りをもっとパワーアップ！レトロな「場」に参加できる仕掛けを作ります。

レトロ通りの街並みはそのままに、レトロな雰囲気をより満喫できる空間づくりを行います。

展開例)

- ・大正写真館……昔の写真館の雰囲気を再現、当時の衣装をまとって優雅な気持ちで写真をお撮りします。
- ・レトロカフェ……当時の門司港のハイカラさを表現した、どこか舶来の雰囲気をする喫茶スペースを設置。
- ・名画座……レトロな白黒映画がダイジェストで流れる名画座を再現。レトロ映画の味わいを伝えます。

<そのほか(海峡子ども広場)>

船をモチーフにして、魅力的な子ども広場のさらなるパワーアップを図ります。

既存の子ども広場はそのままに、リニューアルにあわせて、船をモチーフにしたオブジェや遊具を追加します。船にちなんだアイテムで、楽しみながら、船や海への興味を育みます。

展開例)

- ・ボート型オブジェ……客船側面にかかった小舟をモチーフにしたオブジェを追加。船の雰囲気を醸し出します。
- ・ベルオブジェ、伝声管オブジェ……なんだろう？船の機能への疑問を育むオブジェを追加、船への興味を育みます。
- ・国際信号旗、国旗……色とりどりの国際信号旗や国旗を掲示します。旗への好奇心から航海への好奇心を育みます。

<門司港地区の魅力向上>

関門海峡ミュージアムの施設自体の魅力向上に加え、門司港地区全体の活性化に取り組みます。

門司港地区の魅力向上のため、夜間景観や観光客へのサービスの充実を図り、滞在型観光を目指します。

展開例)

- ・夜間景観バスの運行……関門地域の夜を楽しめる周遊バスを運行します。
- ・門司港レトロ地区のライトアップ……雰囲気たっぷりのライトアップで、門司港地区の夜の魅力を高めます。
- ・門司港レトロ主要施設への無料Wi-Fi設置……Wi-Fiの設置で、インバウンドを含め、観光客の利便性の向上を図ります。